

看護倫理	—	1年後期	1単位 (15時間)	必修
担当: 山田 聡子				
対応するディプロマポリシー (DP) ・赤十字の基本原則のひとつである人道に基づいた倫理観を有している。 ・専門領域における卓越した看護実践能力を有している。(CNS・認定看護管理者コース)				

授業目的及び到達目標

【授業目的】

看護専門職者として人々の尊厳を保つために必要な倫理に関する基礎知識を学修し、事例をもとに倫理調整のプロセスを探究する。

【到達目標】

1. 看護倫理の基盤となる概念が理解できる。
2. 医療及び看護における倫理に関する歴史的変遷が理解できる。
3. 看護実践における倫理的課題と、その検討方法が理解できる。
4. 事例に基づき倫理調整のプロセスを考察できる。

授業内容及び計画

回数	内容	担当者
1	看護倫理の基盤となる概念：尊厳、アドボカシー、インフォームドコンセント、守秘義務とプライバシー	山田 聡子
2	医療・看護倫理の歴史的変遷 徳の倫理と原則の倫理、看護者の倫理綱領	山田 聡子
3	看護実践における倫理的課題：母性・小児領域	山田 聡子
4	看護実践における倫理的課題：老年・精神領域	山田 聡子
5	看護実践における倫理的課題：救急・終末期の場面	山田 聡子
6	倫理的課題の検討方法：4ステップモデル、臨床倫理4分割法	山田 聡子
7	事例検討：関係者間（医療者、患者-家族）の意見の不一致	山田 聡子
8	事例検討：ジレンマを抱える看護師	山田 聡子

授業方法

講義：第1・2・6回、プレゼンテーション・討議：第3-5、7-8回

受講生数によりプレゼンテーション内容・回数を調整する。

すべてZOOMによるオンライン授業を予定している。変更がある場合は速やかに連絡する。

時間外学習

プレゼンテーションの準備を進める（適宜）。

レポート課題の作成に向けた準備を進める（適宜）。

関連事項を学習し討議に備える（適宜）。

初回講義時にプレゼンテーション課題とレポート課題を提示する。

教科書

「看護師の倫理調整力；専門看護師の実践に学ぶ」，第2版，鶴若麻理，長瀬雅子編，日本看護協会出版会，N89/Ts88/2nd，9784818025400

参考図書

「看護倫理学；看護実践における倫理的基盤」，松木光子編，ヌーヴェルヒロカワ，N01.1/Ma78，9784861740374

「看護倫理；よい看護・よい看護師への道しるべ」（看護学テキストnice），改訂第3版，小西恵美子編，南江堂，N01.1/Ka54/3rd，9784524225088

適宜、紹介する

評価方法

プレゼンテーション（30%）、討議参加状況（20%）、レポート（50%）

フィードバック

プレゼンテーション時にその場でフィードバックする。レポートにコメントを入れて返却する。

その他

受講者の背景等により授業内容を変更する可能性がある。